ＴＴＣ提案山行実施記録表

2010年1月3日　報告者：門間信一

山行名	丹沢大縦走（厚木市～山中湖村） ［大山～塔ヶ岳～丹沢山～蛭ヶ岳～檜洞丸～大室山～菰釣山～高指山］		
実施月日	2009年12月30日(水)～2010年1月2日　3泊4日（小屋宿1泊、避難小屋2泊）　公共交通機関利用		
天候／参加人員	天候：４日間ともほぼ晴　レベル：★★★★　参加人員（申込:５名、実行:３名）		
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	ＣＬ/ 計画/写真:　ＳＬ/会計:　食当/救護:　氏　名　削　除		
参加メンバ	男２／女１　氏　名　削　除		
費　用 一人15,000円	内訳　尊仏山荘18,000円（@6,000円）、タクシー代10,420円（石割の湯～御殿場駅8,900円、本厚木駅～恩名～毛利台1,520円）、JR御殿場線御殿場～松田1,440円(@480円)、小田急新松田～本厚木¥990円（@330円）、食料代9,000円、石割の湯入浴代2,100（@700円）、ビール1,000円（尊仏山荘@500円）、ﾐﾈﾗﾙｳｫｰﾀｰ1,200円（尊物山荘@400円） 集金45,000円（@15,000円）合計44,150円（@14,716円）カンパ金850円		
行程時間	末尾コースタイム参照		
食事	朝食	昼食	夕食
一日目	各自	各自	カレー（尊仏山荘）
二日目	おでん（尊仏山荘）	各自	油揚げ入りキムチ鍋
三日目	餅いり蕎麦	各自	鰻丼、ポテトサラダ、スパム
四日目	ﾜｶﾒ入り札幌一番塩ﾗｰﾒﾝ	各自	―

実行コースタイム記録

末尾コースタイム記録参照

コースの概要、 特記事項、反省事項　等

（前日）

12月29日（火）まで仕事があったが、明日に備え定時で上がり21時30分には就寝した。

（1日目）

大山梅ノ木尾根は、12月5日（土）にＳＴさんと個人山行をしたが、大山山頂まで歩行距離6km、累積標高差概ね1,000ｍと行動時間で4時間45分かかった初日の第一関門であった。

当日は4時30分にＭＳさん、ＭＫさん宅に迎えに行き、山行出発地点の七沢弁天の森キャンプ場へ向う。ここを5時20分に出発した。一歩一歩着実に高度を稼いでいく。

シェラフ、シェラフカバーとエアーマットでいつもの山行よりは重いが、12月29日（火）にＭＳさんが犬越路避難小屋に食料等をボッカしてくれたおかげで、その分の荷物が軽く済んだ。梅ノ木尾根の終点は、唐沢峠の東屋より少し頂上寄りの不動尻コースと合流するまでである。合流地点から山頂まで1時間ぐらいかかった。山頂からイタツミ尾根を一路ヤビツ峠へ向かった。

護摩屋敷の水をペットボトルに入れて、これから表尾根を塔ノ岳まで行く。やっとこ三ノ塔まで着いたが、ここから一気に下り、烏尾山まで若干の登り返しである。行者ヶ岳までアップダウンが続き三ノ塔までの高度を稼ぐことができない。行者ヶ岳から新大日まで一気に高度を稼ぐが、今までに足を使ったのでバテバテだ。私のバテバテが分かったのかＭＫさんから『荷物背負いますよ。』言ってもらった。しかし、ここで甘えてはと思い『大丈夫です。』と答えたが、本当はお願いしたかった。新大日に着き後もう少しで尊仏山荘に着くと思ったら『ホット』した。明るいうちに尊仏山荘に着いて良かった。

着いてすぐにＭＫさんと私は小屋で買ったビールとＭＳさんは赤ワインの乾杯をした。つまみはセブンプレミアムのソフトサラミ、生ハムとワカメサラダである。夕食はカレーライスで、ＭＳさんと私はお代わりをした。

（2日目）

小屋の朝食は6時からで、おかずはおでんだ。ここでもＭＳさんと私は朝からご飯をお代わりした。6時40分に小屋を出発した。ＭＳさんの計画では、昨日より少々行動時間が短く若干気が軽い。竜ヶ馬場まで下り丹沢山まで登り返しである。みやま山荘でトイレを借りて、次の目的地の蛭ヶ岳へ向かった。鬼ヶ岩の頭からの下りは急で足場も悪く少々気を付けたい。蛭ヶ岳山頂までの最後の登りは、これまでの疲れが襲ってきて足が中々前に出て行かない。蛭ヶ岳山荘前の広場で少し早い時間（10時）ではあったが、昼食にした。ゆっくり昼食時間を取った。

『よっし！！』と、檜洞丸に向かって気合を入れて出発した。蛭ヶ岳から一気に下り、臼ヶ岳までの登り返し、また下りそして檜洞丸への登り返しである。檜洞丸までは距離が長く、青ヶ岳山荘の青い山小屋が中々見えず、もうヘトヘトである。もう『どうにでもしろ。』と思って歩いているとやっと山荘に着いた。ここでも、トイレを拝借し休憩をして本日の宿泊地へ向かった。檜洞丸の山頂を素通りして、約2時間休まず歩き今日もヘッドランプを付けずに犬越路避難小屋に

到着した。ＭＳさんはボッカした食料等の荷物が無事あるか心配したが、何のいたずらにも無事であった。避難小屋は、2005年9月に新築したトイレ付きの立派な小屋である。小屋には若者の先客が1名いた。大倉からみやま山荘に1泊してこの避難小屋着いたと言っていた。若者は、ここから大室山～菰釣山～山中湖村平野に行くと言っていたので、我々と同じコースであったが、以後、出会うことはなかった。

今日の夕食は、油揚げ入りキムチ鍋で流石に食当のＭＫさんの腕前が光った瞬間であった。

（3日目）

今日は昨日よりコースタイムで1時間短く、幾分気が楽であった。しかし、これが間違いだったことは、歩いてみて分かった。

大室山の山頂直下のベンチから初日の出を見ようと朝3時に起きて朝食を摂り4時12分に避難小屋を出発した。昨日までの疲れと本日の夕食と明日の朝食の食料でザックが重いのか山頂直下のベンチまで2時間30分（コースタイム1時間40分）かかった。

ベンチでツエルトをかぶり日の出を待った。ツエルトをかぶってから5分少々で日の出となった。なんとgoodタイミングであろうか。3人とも日の出に向かい手を合わせている。各々、何をお願いしたのであろうか。ここで、皆さんにお伝えすると願いがかなわなくなるので、割愛するが皆さんがお願いすることと同じようなものである。

ここから、1時間ぐらいで加入道山に着き、加入道避難小屋を見学した。小屋の中には、遭難者用の布団もあり手入れは行き届いていた。ここからモロクボ沢ノ頭まではコースタイムで2時間であるが、2時間30分かかってしまった。歩き疲れた頃にやっと着いた。まだまだ、先は長く大界木山、城ヶ尾山とブナ沢の頭を越えなければ宿泊場所に着かない。ずいぶん気落ちしたが、何とか前へ進まなければという思いで一歩ずつ歩を進める。一瞬ではあるが、『ギブアップ』したくなった。

やっとの思いでヘッドランプを使わず菰釣避難小屋に到着した。小屋に川崎から来たと言っていた親子の先客が3名いた。すぐに、ＭＳさんは水場に6Lの水を汲みに向かった。私はＭＳさんに甘えて小屋で待機した。ＭＫさんはトイレに行くといっていたが、ＭＳさんを迎えに行ったようだ。熱々の夫妻である。

本日が今回の山行の中では一番きつく、だんだん楽になる山行4日間の3日目であると思っていたが、大いなる勘違いであった。

夕食は豪華な鰻丼である。親子3名は暗くなってから小屋の前の広場にテントを張って宿泊するといって出て行ったが、十分小屋の宿泊スペースがあるのに、寒く手間がかかるのに避難小屋に宿泊しないのは信じられなかった。

眠るためにシェラフに入ったら暖めるためのガスボンベを消し忘れてＭＫさんから叱られた。ヘッドランプも消し忘れＭＳさんが消してくれたようだ。シェラフに入ってすぐに記憶がなかった。

（4日目）

本日は、山行時間が短く楽であると思っていたが、これも大いなる勘違いであった。

小屋を6時15分に出発した。菰釣山山頂に着いた瞬間に日の出であった。前を見ると富士山、後ろを見ると日の出である。なんと素晴しい景色であろうか。搭ノ岳や蛭ヶ岳の山頂で見るより良い景色であった。4日間の中で距離は短いて楽だと思った。菰釣山、ブナノ丸、油沢ノ頭、樅の木沢ノ頭、西ノ沢の頭、石保土山、大棚ノ頭、高指山とアップダウンの連続で、もうへとへとであった。富士岬平に着き、目の前に大きな富士山、山中湖村と山中湖が見え、ここからの眺望は最高だった。最後の登りの高指山に向かうが足が前に進まない。最後の登りだと言い聞かせてもだめだった。一歩一歩と進む。前を行くＭＳさんは、疲れないのか私との間隔が開いて行く。やっとの思いで山頂に着いた。もう、疲労で足がパンパンである。

ここから、下りだけで『ホット！』する思いだった。山中湖村平野に着き、三人で山行終了の握手をした。石割の湯でお風呂に入り、タクシーで御殿場駅まで向かい、ＪＲ御殿場線で松田へ、小田急で新松田から本厚木へ、本厚木からタクシーで自宅に帰って、今回の山行を終了した。

ＳＫ（感想）

ＭＳさんの甘い言葉に誘われ参加したが、一年分を歩いた気持ちになった。単独行で南アの3泊4日のテント山行と同じくらいの厳しい山行であったと思える。何より4日間共に晴れて本当にラッキーでした。山行途中に目がむくみ腫れて視界が悪くなっていた。ＭＳさんとＭＫさんからは笑われ、家内からは一緒に歩きたくないと言われた（笑）。そう言うＭＫさんも私ほどではなかったが、目がむくんでいた。（笑）ＭＳさんの山行計画では、初日が一番きつく、2日目、3日目と段々に楽になるはずであったが、とんでもない3日目が一番きつかった。

楽しかったと聞かれれば、答えに困るが思い出に残る山行かと聞かれれば、そのとおりである。辛くもあったが、景色を堪能できた充実した4日間であった。もう一度やるかと聞かれたら『断ります。』

ここで標語、『気を付けよう暗い夜道とＭＳの甘い誘惑』と『それに同調するＳＫの言葉』（笑）しかし、充実した山行に計画したＭＳさん感謝したい。

ＭＳさん、ＭＫさん4日間ありがとうございました。

ＭＳ（感想）
今回の計画は昔、友人が「東海自然歩道で山中湖まで行きたいな～」と言っていたのを思い出したのと、なんか大きな山行を丹沢で出来ないかと考えた末に出来上がった会心の計画と思っています。会の名前も丹沢トレッキングということから「スタートは厚木」と、こだわってまいりました。梅ノ木尾根というマイナーなルートも（こだわり）の一つなんです。計画の段階で時間的、体力的にカットして伊勢原あたりからスタートしたいのは正直ありました。しかしTTCの歴史に残る山行だけに妥協をせずやり通したかった。言い方を変えれば「究極の自己中」です。ただそれだけ！自分が満足すればそれでいいんです。往年のクライマーで（故）吉尾弘さんとお話しする機会があった時、彼が言い残した台詞が未だに忘れられず何時も計画をする時思い出します。それは「心高ぶる山行をしているかい」でした。お酒の席で顔を真っ赤にしながら情熱をこめて話しておりました。当時は現役を引退したものの60歳で未だに厳冬期谷川岳一ノ倉沢三スラを登っていました。今思えば心高ぶる山は年齢に関係が無いんだなーとつくづく思います。今年は心が躍るような、ワクワクそしてちょっぴりドキドキするようなそんな「究極の自己中な山行」をしようと思います。ＳＫさんこんな自分に付き合っていただきありがとうございました。皆様。本年も宜しくお願いします。

ＭＫ（感想）
とにかく長い行程でした。歩いても歩いても先がある。なんどピークを越したことか。一年の始まりにして、今年1年分の山行をした気分です。しかし、終わって地図を広げ、歩いた行程をみながらしみじみと浸っています。よくやったなあとおもいます。とてもひとりで行ける行程ではありません。一緒に歩く仲間があってのことです。素敵な山仲間を得て本当にありがたくおもいます。ありがとうございました。TTCのみなさん、どうぞ恐れずに今後もご一緒しましょう。

丹沢大縦走（厚木市～山中湖村）コースタイム記録

2009 年 12 月 30 日（水）～2010 年 1 月 2 日（土）

	到着	出発	休憩	計画	実績－計画	ガイドブック
七沢弁天の森ｷｬﾝﾌﾟ場		5:20		12:20		
500mベンチ	6:40	6:47	0:07			
900mベンチ	8:17	8:35	0:18			
大山山頂	9:33	9:47	0:14			
ヤビツ峠	10:44	10:54	0:10			
登山口	11:24					
1,000 ベンチ	12:02	12:12	0:10			
二ノ搭	12:42					
三ノ搭	13:03	13:25	0:22			
書策小屋	14:54	14:58	0:04			
新大日	15:18	15:29	0:11			
搭ノ岳	16:19					
一日目	10:59	9:23	1:36	12:20	△1：21	9:08
搭ノ岳		6:40		10:00		
丹沢山	8:00	8:12	0:12			
蛭ヶ岳	10:04	10:31	0:27			
臼ヶ岳	11:54	12:05	0:11			
神ノ川乗越	12:26					
金山谷乗越	13:05					
青ヶ岳山荘	14:12	14:26	0:14			
桧洞丸山頂	14:33					
犬越路避難小屋	16:48					
二日目	10:08	9:04	1:04	10:00	0:08	8:20
犬越路避難小屋		4:12		9:10		
大室山直下ベンチ	6:45	7:05	0:20			
前大室	8:00					

加入道山	8:15	9:00	0:45			
モロクボ沢の頭	11:30	11:42	0:12			
大界木山	12:42					
城ヶ尾峠	13:10					
菰釣避難小屋	15:03					
三日目	10:51	9:34	1:17	9:10	1:41	7:35
菰釣避難小屋	6:15			5:10		
菰釣山	6:50	7:00	0:10			
ブナノ丸	7:23					
油沢ノ頭	7:53	8:01	0:08			
樅ノ木沢の頭	8:20					
西沢ノ頭	8:48	8:56	0:08			
石保土山	9:24					
大棚ノ頭分岐	9:59					
富士見平	10:46	10:57	0:11			
高指山	11:12					
一般道出合	11:36					
平野	11:54					
石割の湯	12:38	13:25				
御殿場駅	14:15	14:38				
新松田駅		15:23				
本厚木駅	15:50					
四日目	5:39	5:02	0:37	5:10	0:29	5:00
四日間計	行動:38:37	歩行 34:03	休憩 4:34	36:40	1:57	30:03

※広沢寺～大山は、ガイドブックにコースタイムがないため表のガイドブック欄の時刻は実績を記載した。

※計画は、CLが計画をした行動時間の少ないほうを記載した。

※四日目および四日目計は、平野までの時間を記載した。